

手拭商

手拭雜載

〔諸艶大鑑〕髪は嶋田の車僧

けふ計はと忍び駕籠、松原通をいそがせ、因幡堂の前にてかならず肩替る間もいらちて行に、新町通の邊にむかしから染手拭屋あり、略下

〔薩戒記〕應永三十二年九月十日丙午、今日上皇後松御幸東山泉涌寺、略中

次下北面六人、著布衣、

一人持御杓、康秋在御右方、杓黒漆、蒔繪、菊八葉、有金物、

〔貞丈雜記調度〕柄長杓には手巾を柄に結付る事也、前九年合戦の繪にも、柄長杓に手巾を付し體を畫きたり、圖左の如し、

